

最終回 市民ワークショップ

「私たちが考える、公共施設の将来像」

をテーマにグループ討論を行いました

回覧

12月4日（月）支所2階で、第3回の「七二会地区の公共施設について考える」市民ワークショップを開催しました。

既存の公共施設の再配置を考えるグループ討論の後、まとめとなる意見発表を行いました。住民自治協議会の小池会長のあいさつ、樋口副市長から御礼のあいさつの後、参加者全員で記念撮影を行い、七二会地区のワークショップは幕を閉じました。関係の皆さま、ありがとうございました。



信州大学工学部の学生グループも含め、支所の将来像を中心に、七二会の公共施設の再配置案を、短い時間の中でまとめて発表していただきました。（詳細は次ページをご覧ください）

今後、具体的な再配置及び施設整備に向けた検討につきましては、今回のワークショップでいただいたご意見等を参考に、地域の皆さまや、広く市民の皆さまの意見をお聴きしながら協議を重ねてまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いたします。

市民ワークショップや公共施設マネジメントに対するご意見、ご要望などありましたら、遠慮なく下記までお寄せください。



今回のワークショップは、七二会地区住民自治協議会のご協力をいただき、公募及び、七二会地区内の各区からご参加いただいたメンバーで、熱い討論を重ねていただきました。

【お問い合わせ先】

公共施設マネジメント推進課

電話：224-7592

七二会支所 電話：229-2311



七二会地区の主な公共施設

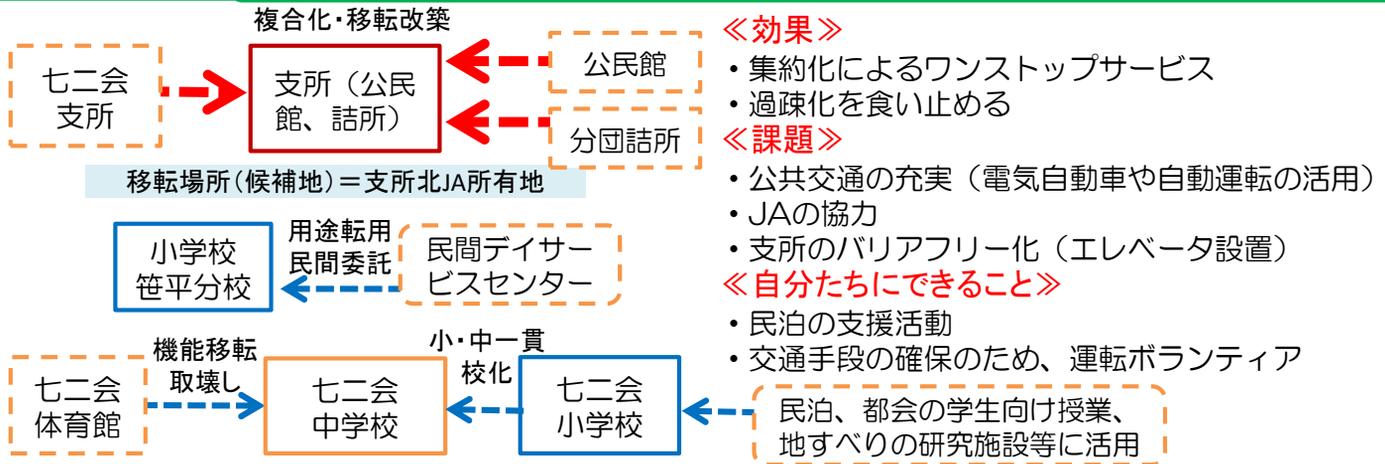


各グループの施設再配置案の概要をご紹介します

以下に、建物を移す案を **→** で、機能を移す案を **→** で、表しています

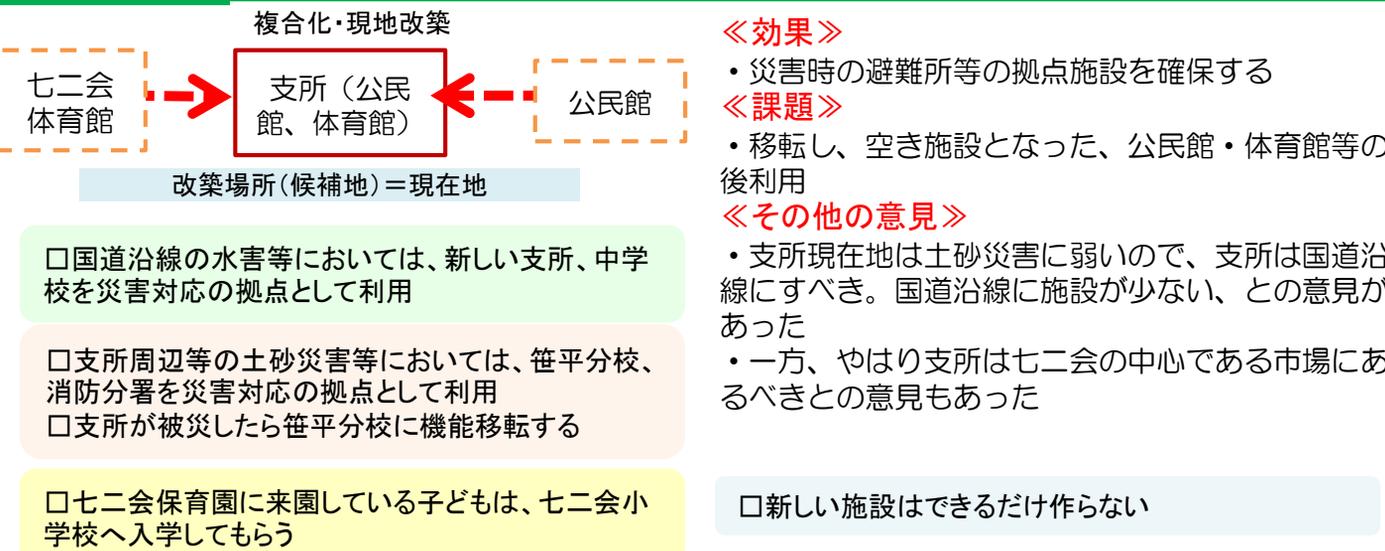
Aグループ

コンセプト【過疎を食い止めるための中心地活用案】

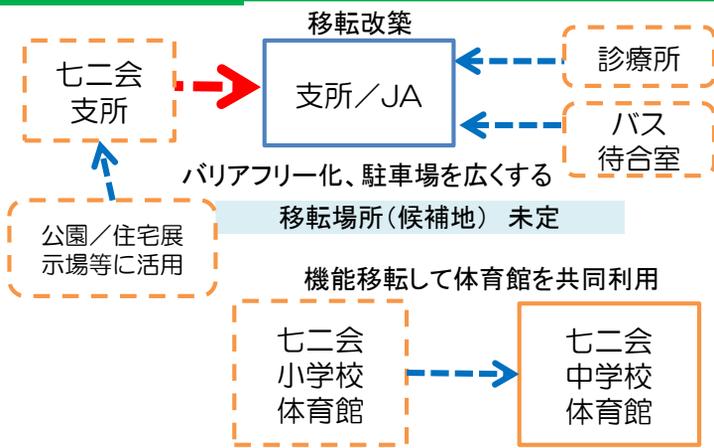


Bグループ

コンセプト【安心安全に暮らせる七二会！！】



Cグループ コンセプト 【老人が使いやすい施設+子供にも】



《効果》

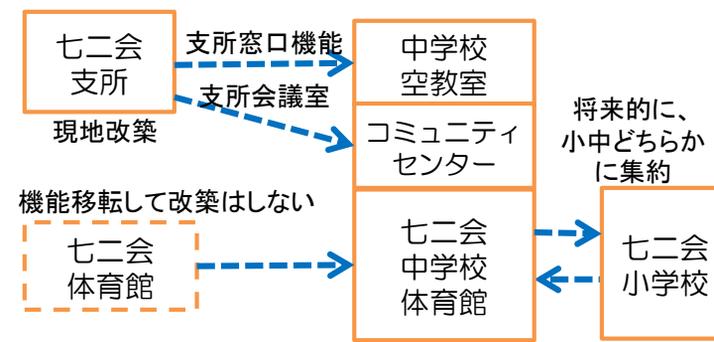
- 人が集まりやすい
- 施設の機能向上（駐車場の確保）
- 防災拠点化（備蓄、避難所）
- ランニングコストの削減

《課題》

- 本当は複合施設化の中に、新しい駐在所を含められれば良かった

- ふれあい交流広場は、多世代に開放してイベントなどに活用する

Dグループ コンセプト 【既存施設を有効利用】



《効果》

- コストの低減
- 既存施設の利用率アップ

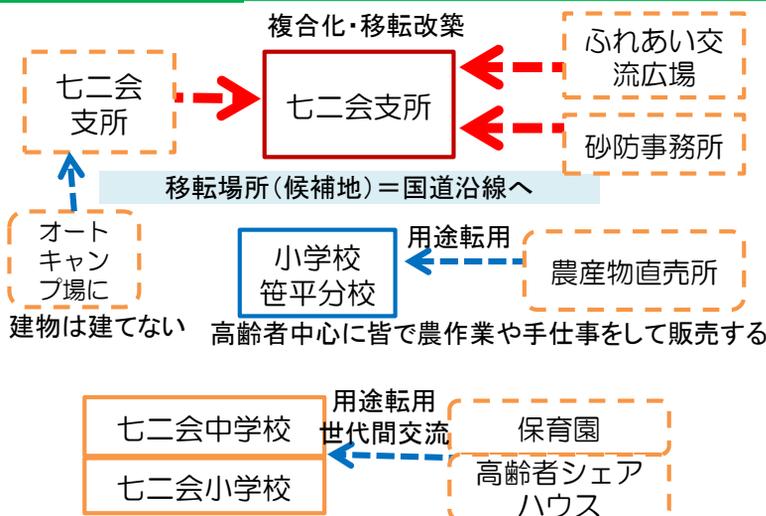
《課題》

- 支所に必要なスペースがどの程度が明確でない
- 今は、学校に空き教室が無いと聞いている

《その他の意見》

- 支所は現在地周辺に必要。無くなると市場の過疎化が進み子どもの安全にも悪影響
- 小中学校を統合し、空いた校舎に介護施設を整備する時代がくるかもしれない

Eグループ コンセプト 【世代間の交流が深まる様な中心地にする】



《効果》

- 国道沿いに移転することで、他地区の人でも利用できて人が集まる

《課題》

- 七二会の中心地から支所が移転すると淋しい、学校を利用して七二会の中心地に世代を越えた人が集まるよりどころを作りたい

《自分たちにできること》

- 七二会に住み続けること

《その他の意見》

- 他地区の支所の活用を考える。支所の機能を選別する。行政手続はどこでもできる。
- 一方、支所不要と言えるのは車の運転ができる間だけとの意見もあった

Fグループ コンセプト 【七二会の文化と生活の再配置】 信州大学工学部学生

- 七二会支所は、七二会保育園付近へ移転する。支所跡地周辺は、歴史・自然の中心、新支所周辺を生活の中心にする
- 七二会体育館、小学校体育館、笹平分校体育館は、中学校体育館へ集約
- 七二会コミュニティセンターは学校の空き教室へ集約する
- 小・中学校の空き教室を使い支所出張サービスを行う。学校体育館の地域開放を



参加者アンケートの主な意見をご紹介します



信大工学部 羽藤准教授



住自協 小池会長



樋口副市長

【Aグループ】

- ◆みんなの希望が詰まったプランニングなので、なるべく沢山取り入れられるよう、住民も協力して進めていければ良い
- ◆何もかも支所等に任せるのではなく、地域住民が考えての利便性を重視していく必要がある
- ◆子育て中の世代の意見を聞いてみたい。中高生にも考えてほしい
- ◆七二会の課題について参加者全員が真剣に考えた。全員が七二会を良くしたいのが分かった

【Bグループ】

- ◆意見がはっきり言えなかったが、七二会のことを真剣に考えたつもり。このような機会はめったにないと思うので、参加できて良かった
- ◆今まで他人事で、施設が新しくなれば良かった、と思う程度だったが、集約化・複合化などを含めて今後の課題について考えていければと思う

【Cグループ】

- ◆グループごとに様々な意見が出てきて参考になった
- ◆公共施設に対する色々な意見があり、日ごろ考える事が無かったので良い機会になった
- ◆七二会がもっと盛り上がりますように

【Dグループ】

- ◆新しいアイデアが多く出たことは素晴らしい。住民の声が反映されることを強く希望する
- ◆ワークショップに参加して勉強になった。公共施設と地域住民がどう関係を持つのか、いろいろ考えさせられた
- ◆同じ七二会に住んでいても、暮らしている地区で意見の違いがあることが良く分かった
- ◆長野市の公共施設の考え方が不明のもとワークショップが行われたように思う

【Eグループ】

- ◆色々な考えや思いがあり、まとめるのが大変だと思うが、進めてほしい
- ◆今回の試みが将来実現することを願う。様々な実情や心情をまとめるのは困難だと思う
- ◆公共施設が沢山あるのにびっくりした。七二会のこれからを考える事が出来た

【Fグループ】 今回は大学生のグループを作りました

- ◆これまでは、公共施設を一つの建物としてしか考えられなかったが、地域全体からの視点でみることができ、これからの在り方を考える事が出来た
- ◆施設は、ただ使えれば良いと思っていたが、集約化の重要性や不要な施設のランニングコストなどについて考えさせられた

【羽藤先生の講評から】第一回目から段階的に議論が具体化し、支所を中心とした施設の在り方まで高めていくことができた。公共施設の再配置については、コストの問題や施設削減など耳の痛い話になりがちだが、今回の話し合いや意見交換の中で、地域の皆さんの思いや希望など、コストの様に数字では計りきれない部分が出された。その点からも、ワークショップの議論が有意義であったと思う。ワークショップで出されたアイデアや意見が今後の施策に生かされることを期待します。

七二会地区のワークショップ開催に御協力いただいた皆さまに、改めて厚くお礼申し上げます

